

株式会社テクノマセマティカル

平成20年3月期＜第8期＞
決算説明会



平成20年5月22日

Agenda

1. 事業概要
2. 平成20年3月期 決算の概要
3. 主要な業績指標の推移
4. トピックス
5. 業績見通し
6. Next 2011 中期事業計画について

本説明会および説明会資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づいて、当社が判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なることがありますことをご了承ください。

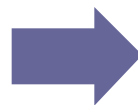
1-1 当社の基幹業務について

2000年6月設立当初から
“アルゴリズム開発” をビジネスの基幹と位置付け



Algorithm Specialist

TMC



DMNA (Digital Media New Algorithm)

テクノマセマティカルが開発したアルゴリズムの愛称名

画像 / 映像

音響 / 音声

ソフトウェアIP

ハードウェアIP

単機能LSI

1-2 当社事業の特徴

1. 独自技術により、差別化された製品

「DMNA」を核とした独自アルゴリズム



2. 利益逡増型の収益構造

ライセンス・ロイヤルティモデルを主体とした収益力

3. 全世界に展開

国際標準規格準拠、日本発の映像 / 音響製品

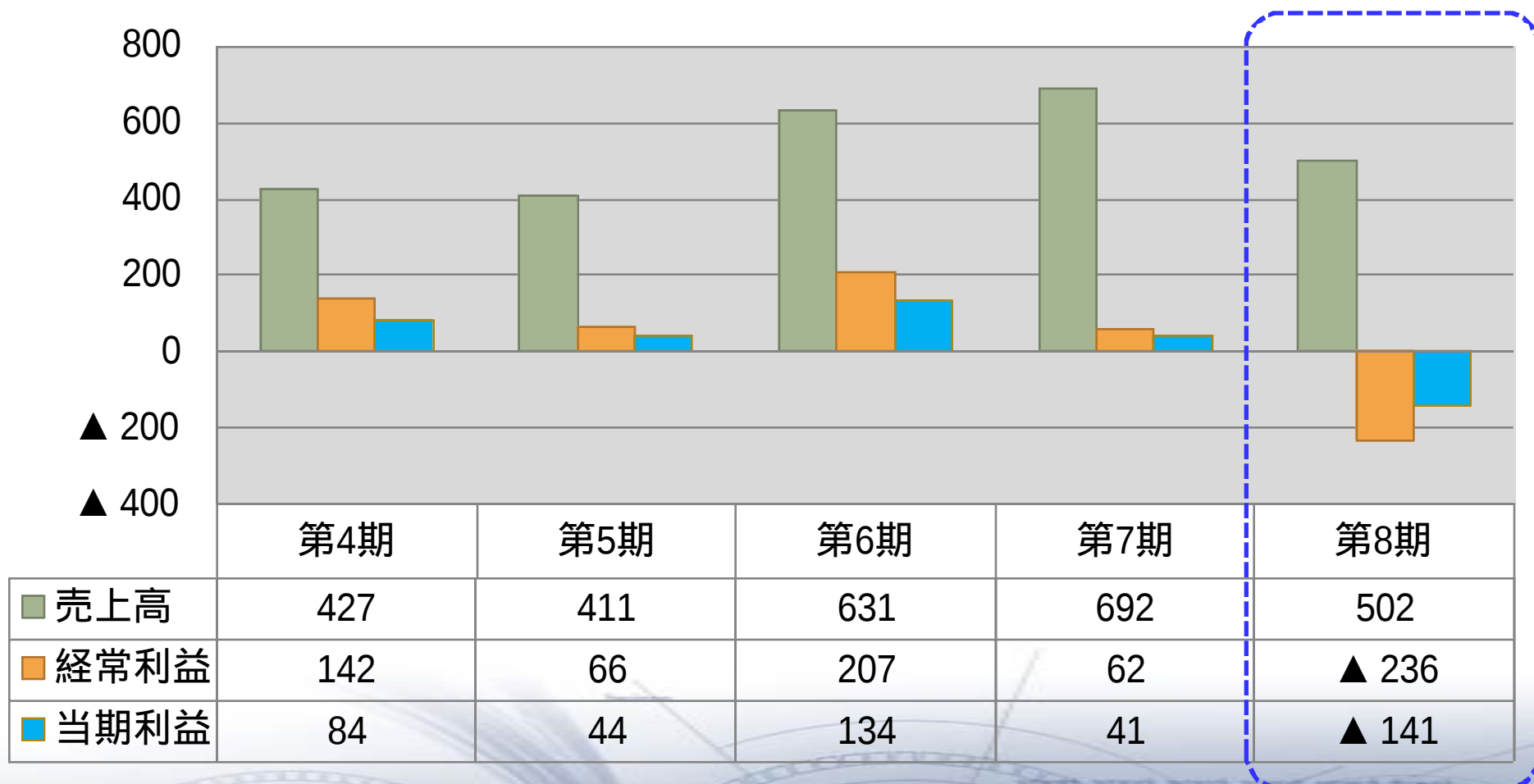
4. 業容拡大による収益力の向上

売上・利益の絶対額増加、3本柱の確立

2-1 業績の推移

◆ 売上高 前事業年度増減比 マイナス27.4%

(百万円)



2-2 当初業績予想との差異について

(単位:百万円)	期初予想	修正予想 (平成20年2月)	実績	差異金額	増減率
売上高	1,100	470	502	▲598	▲54.4%
経常利益	249	▲277	▲236	▲485	-
当期利益	163	▲166	▲140	▲303	-

プラス面

◆オリジナルコーデック DMNA-V2 がアミューズメント業界で広がりつつある。

マイナス面

◆デジタルTV(PC)の普及が当初の予想より2年程度ゆっくりしている。



- LSIの企画、日程を大きく変更した。
- LSIの拡販ツール、販売体制も見直した。



新規LSI着手
が遅れた。

2-3 損益計算書 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	当事業年度 (平成20年3月期)	構成比	対前期 増減比	前事業年度 (平成19年3月期)
売上高	502	100.0%	▲27.4%	692
売上総利益	296	59.1%	▲46.8%	558
販売管理費	544	108.4%	+15.2%	472
営業利益	▲247	▲49.3%	-	85
経常利益	▲236	▲47.1%	-	62
当期純利益	▲140	▲28.0%	-	41

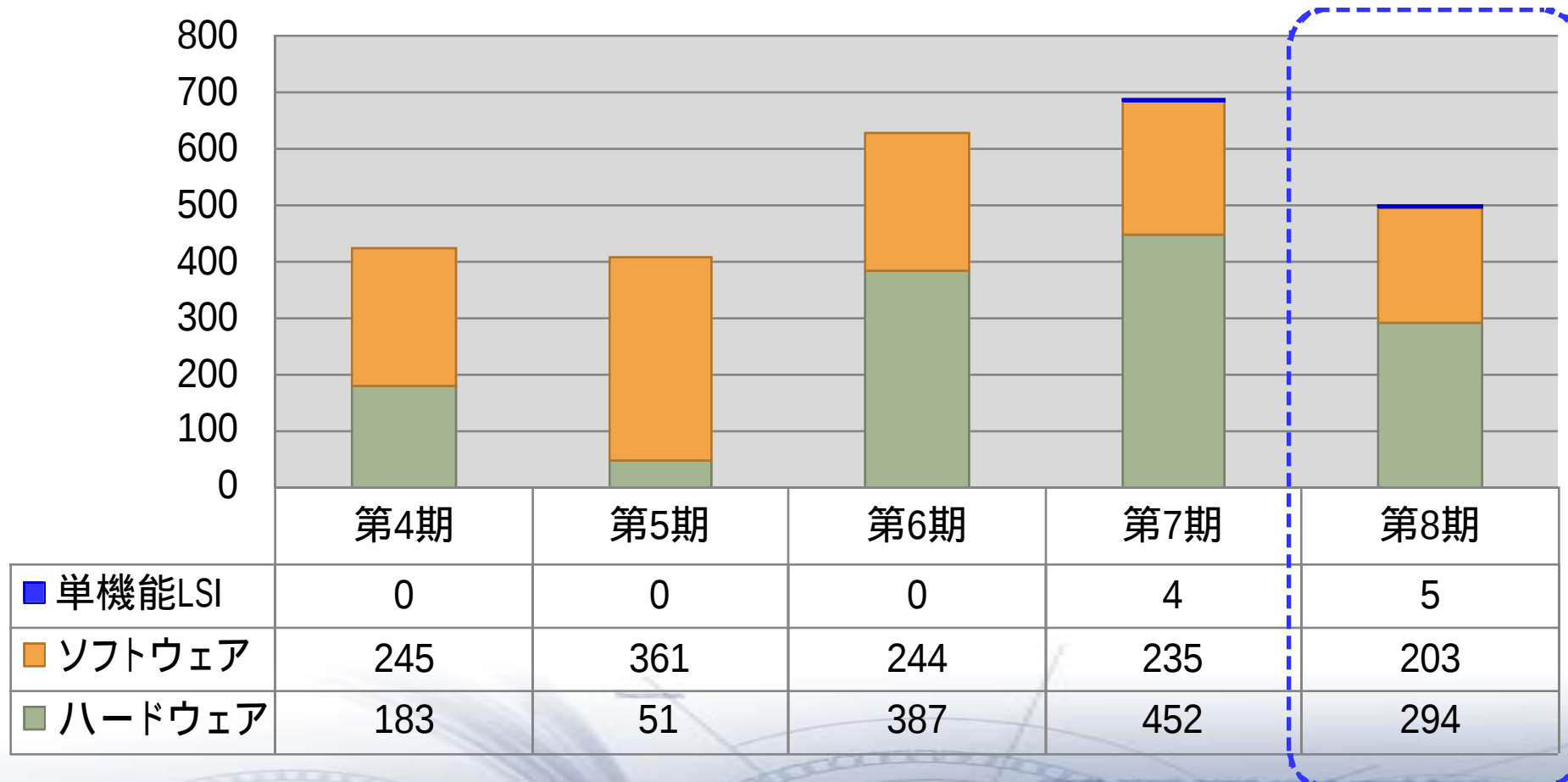
2-4 貸借対照表 (平成20年3月31日)

(単位:百万円)	2008/3末	構成比	対前期 増減	2007/3末
流動資産	4,099	95.6%	▲131	4,230
固定資産	187	4.4%	▲51	238
資産合計	4,286	100.0%	▲183	4,469
流動負債	63	1.5%	▲55	118
固定負債	-	-	-	-
純資産	4,223	98.5%	▲127	4,350

3-1 売上の内訳(事業区分別)

◆ソフトウェアは前期比減・・・効率的な営業体制の整備遅れ

(百万円) ◆ハードウェアは前期比大幅減・・・大型案件の消滅による

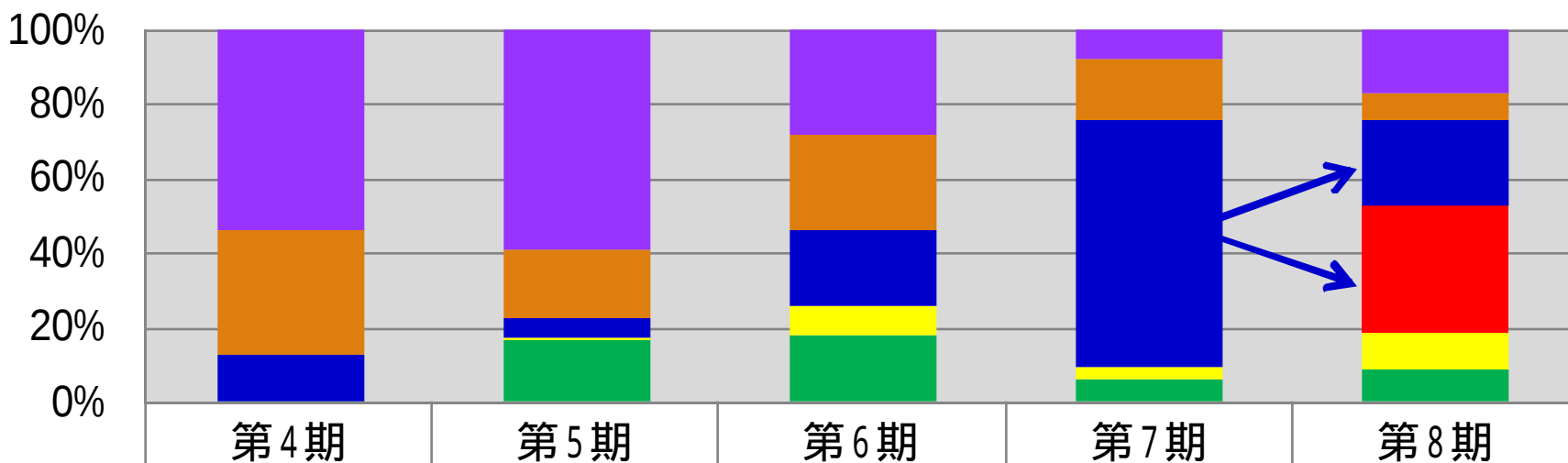


3-2 売上の内訳(対象市場別)

◆アミューズメント機器市場が拡大(第7期のConsumerから区分を分離)

◆車載情報システム、携帯型端末機器市場も好調

(百万円)



	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期
Handset	231	244	180	53	85
Imaging	142	76	160	115	37
Consumer	53	21	129	459	117
Amusement					169
Automotive	0	2	50	24	50
Other	1	69	112	41	44

4 営業トピックス

❖ 新規顧客の獲得

シャープ、ユニデン、バッファロー、etc...

(公表のご許可をいただいた先のみ記載しております)

❖ 量産採用製品の増加

携帯電話、アミューズメント機、ワンセグUSBプレイヤー

❖ 新規システムの開発完了

オリジナルコーデック DMNA - V2、フレーム補間SW
カラーフィルタ、拡大縮小LSIコア、VC - 1HD HWIP

5-1 業績見通し

(単位: 百万円)

	当期予想	増減	増減率	前期実績
売上高	880	+378	+75.2%	502
経常利益	45	+281	-	▲236
当期利益	23	+163	-	▲140

ソフトウェアライセンス = 新規開発した製品の拡販

ハードウェアライセンス = DMNA - Vシリーズの販売強化

単機能LSI = 少量で多岐、多量の顧客獲得

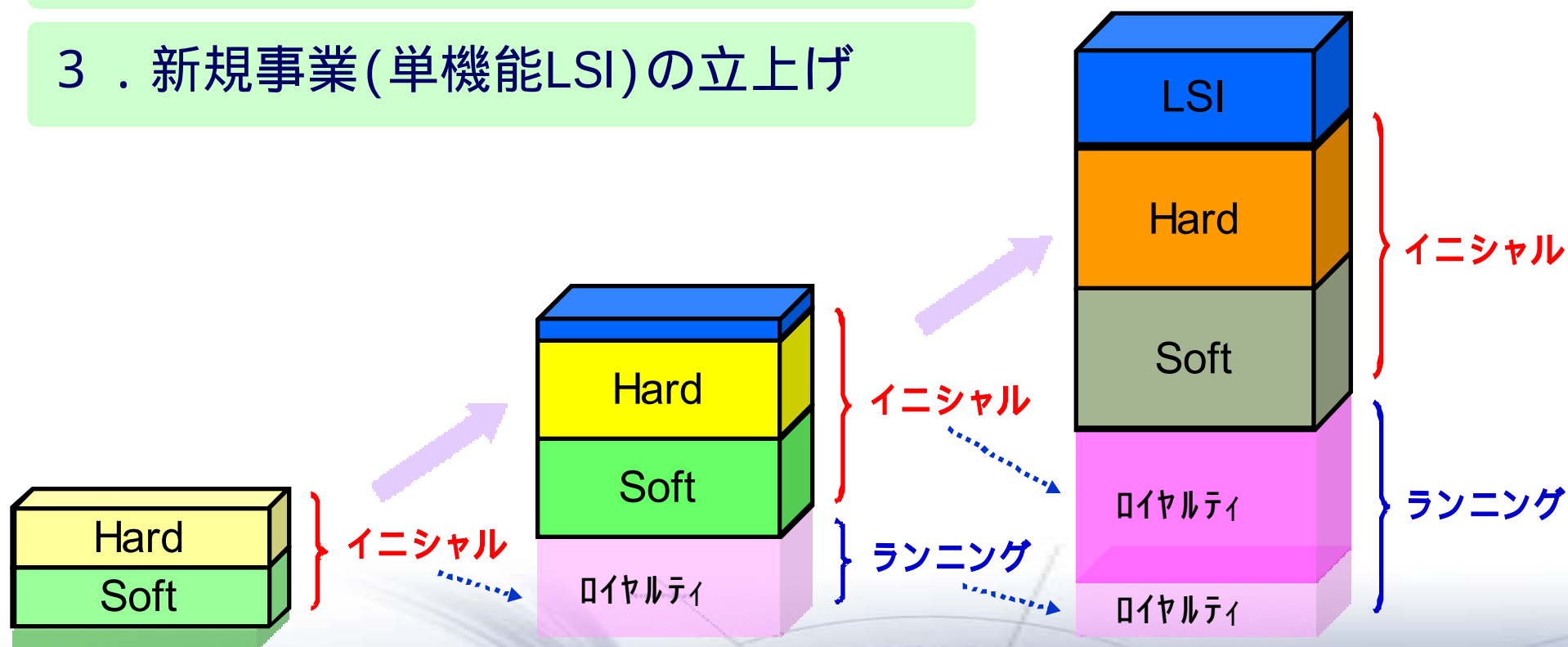
5-2 売上成長イメージ

1. イニシャルの積上げ

イニシャル増に伴う

2. ロイヤルティの積上げ

3. 新規事業(単機能LSI)の立上げ



5-3 平成21年3月における課題

1. 販売体制の拡充

人員補強

代理店との関係強化

2. 独自技術製品の開発

高機能な独自技術製品で新たな市場の拡大

3. 単機能LSI事業の本格的な立ち上げ

ソフトウェア / ハードウェア / 単機能LSI の三本柱による
収益機会の拡大

4. 「Next 2011」への新規ビジネステーマの継続

6-1 Next 2011

平成21年3月期



平成22年3月期

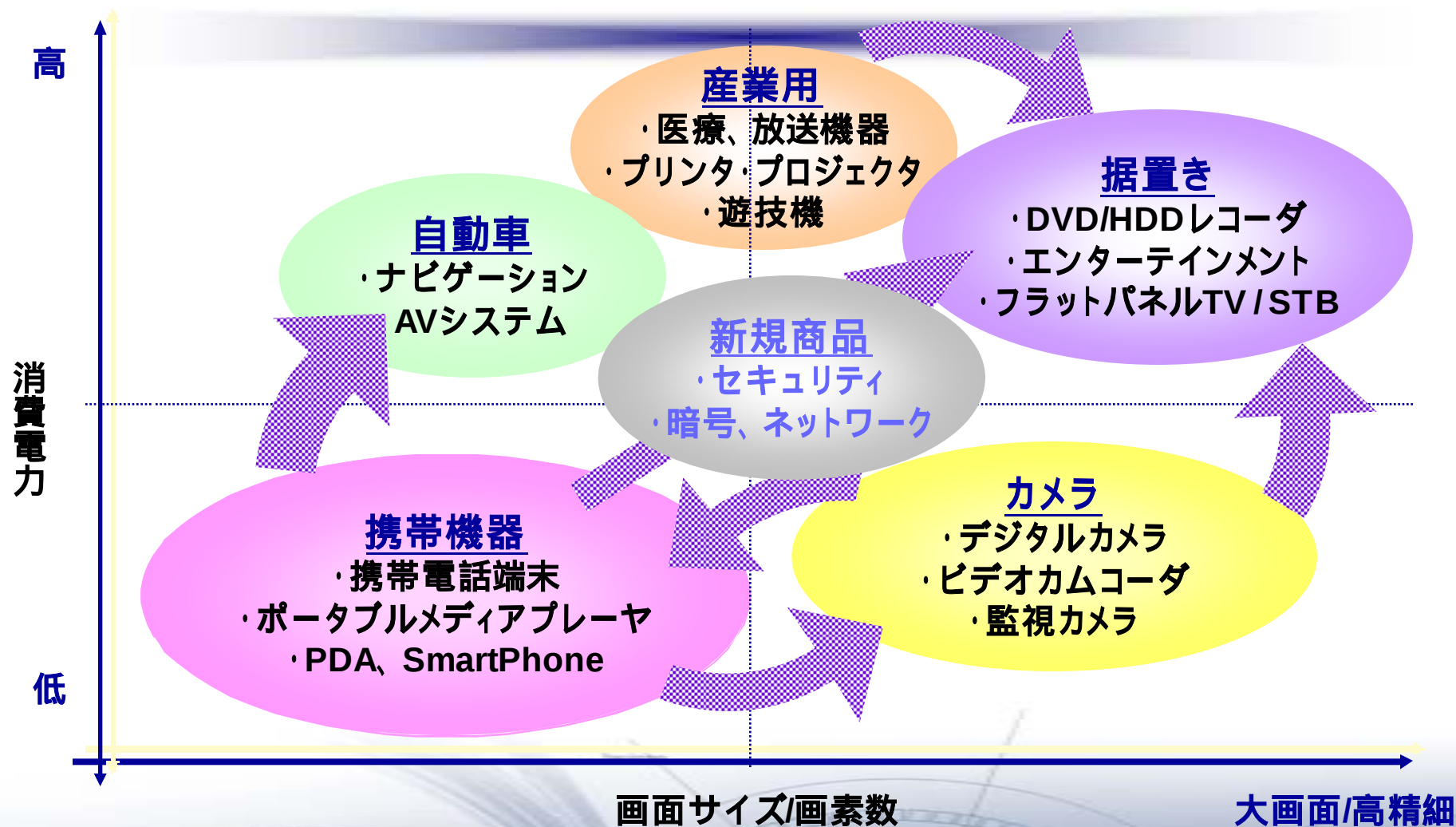


平成23年3月期

← 中期3ヶ年計画の初年度

当事業年度（平成20年3月期）
までの経営資源を効果に活用し、特
定分野に対し「開発」「販売」を集
中し拡販していく。

6-2 ターゲット市場



6-3 アルゴリズムDMNAの活用

DMNA

DMNAにできること

- 1) 画質を落とすことなく、圧縮率を上げる
- 2) 画像、音響 / 音声の演算処理量を削減する
- 3) 消費電力を低減する
- 4) 回路規模を小さくし、CPU負荷を軽くする

省エネルギーなグリーンIP製品

ソフトウェアIP

ハードウェアIP

単機能LSI

アルゴリズムの分野で 世界のスタンダードになる！

ご清聴ありがとうございます。

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これできない場合があります。

本資料および説明会内容についてのお問合わせ先

株式会社テクノマセマティカル 管理部

TEL: 03-5798-3636 E-mail: ir@tmath.co.jp